

新採用医薬品情報 2023-03

2023年3月9日

Ⅰ 院内採用医薬品【2023年3月15日（水）より使用可能です】

薬品名	製剤写真	適応症／用法・用量	採用条件・備考	添付文書
イブランス錠25mg 〔一般名〕 パルボシクリブ 〔薬効分類〕 抗悪性腫瘍剤（CDK4／6阻害剤） 〔貯法〕 室温保存 〔区分〕 処方／共通 〔長期処方〕 可		・ホルモン受容体陽性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳癌： 内分泌療法剤との併用において、成人には1日1回125mgを3週間連続して経口投与し、その後1週間休薬する。これを1サイクルとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。	本剤の採用に伴い、イブランスカプセル25mg、125mgは当院取り扱い中止となります。院外処方也不可です。	
イブランス錠125mg 〔一般名〕 パルボシクリブ 〔薬効分類〕 抗悪性腫瘍剤（CDK4／6阻害剤） 〔貯法〕 室温保存 〔区分〕 処方／共通 〔長期処方〕 可				
エクフィナ錠50mg 〔一般名〕 サフィナミドメシル酸塩 〔薬効分類〕 パーキンソン病治療剤 〔貯法〕 室温保存 〔区分〕 処方／共通 〔長期処方〕 可		・レボドパ含有製剤で治療中のパーキンソン病におけるwearing off現象の改善： 本剤は、レボドパ含有製剤と併用する。50mgを1日1回経口投与する。なお、症状に応じて100mgを1日1回経口投与できる。	本剤の採用に伴い、アジレクト錠1mgは薬剤部の在庫がなくなり次第、院内取り扱い中止となります。院外処方は引き続き可能です。	
オンジェンティス錠25mg 〔一般名〕 オピカボン 〔薬効分類〕 末梢COMT阻害剤 〔貯法〕 室温保存 〔区分〕 処方／共通 〔長期処方〕 可		・レボドパ・カルビドパ又はレボドパ・ベンセラジド塩酸塩との併用によるパーキンソン病における症状の日内変動（wearing-off現象）の改善： 本剤は、レボドパ・カルビドパ又はレボドパ・ベンセラジド塩酸塩と併用する。成人には25mgを1日1回、レボドパ・カルビドパ又はレボドパ・ベンセラジド塩酸塩の投与前後及び食事の前後1時間以上あけて経口投与する。	—	

Ⅰ 院内採用医薬品【2023年3月15日（水）より使用可能です】

薬品名	製剤写真	適応症／用法・用量	採用条件・備考	添付文書
ミオテクター冠血管注 〔一般名〕 A液：塩化ナトリウム／塩化カリウム／ 塩化マグネシウム／塩化カルシウム水和物 B液：炭酸水素ナトリウム 〔薬効分類〕 心臓外科手術用心停止及び心筋保護液 〔貯法〕 室温保存 〔区分〕 注射		・低体温体外循環下、大動脈を遮断し実施される心臓外科手術における、心停止及び心筋保護： 本剤は、用時A液にB液を全量添加し、十分に混合して使用する。A液にB液を混合後、本剤を4℃前後に冷却し、人工心肺装置を用い、患者を体外循環下に置き、体外循環灌流温を予定の低温にした後、上行大動脈を遮断し、直ちに、通常成人体重1 kg当たり10～20mLを、順行性冠灌流にて注入する場合は2～4分かけて冠状動脈(大動脈基部)に、また、逆行性冠灌流にて注入する場合は4～7分かけて冠状静脈(冠状静脈洞)に注入する。 ただし、心停止が得られない場合は、心停止が得られるまで適宜増量する。また、同時に、心嚢内に4℃前後に冷却した局所冷却液(生理食塩液、リンゲル液、乳酸リンゲル液等)を持続的若しくは定期的に注入し、あるいはアイススラッシュを用いて、心臓の局所冷却を維持する。以後、20～30分ごとに、本剤(A、B混合液)を初回注入量の半量を目安に心停止が維持できるよう追加注入する。また、途中で心機能が回復した場合、若しくは心筋温が15～20℃以上に上昇した場合は、速やかに心停止が得られるまで追加注入を行う。 本剤(A、B混合液)の注入に当たっては、順行性冠灌流を基本とし、順行性冠灌流のみでは本剤が心筋に十分行き渡らない可能性がある場合、逆行性冠灌流の併用あるいは逆行性冠灌流を行う。なお、1手術当たりの注入量は、手術の種類や手術時間により異なる。注入に際しては、注入圧をモニターし、過度の注入圧を回避すべく注意する。	本剤は手術室限定です。	

II 院外採用医薬品【2023年3月15日（水）より使用可能です】

薬品名	製剤写真	適応症／用法・用量	採用条件・備考	添付文書
アミオダロン塩酸塩速崩錠50mg「TE」 [一般名] アミオダロン塩酸塩 [薬効分類] 不整脈治療剤 [貯法] 室温保存 [区分] 処方／院外 [長期処方] 可		・ <u>生命に危険のある下記の再発性不整脈で他の抗不整脈薬が無効か、又は使用できない場合</u> <u>心室細動、心室性頻拍：</u> <u>心不全（低心機能）又は肥大型心筋症に伴う心房細動：</u> 導入期：成人には1日400mgを1～2回に分けて1～2週間経口投与する。 維持期：成人には1日200mgを1～2回に分けて経口投与する。	—	
インフリーSカプセル200mg [一般名] インドメタシンファルネシル [薬効分類] 組織活性型鎮痛・抗炎症剤 [貯法] 室温保存 [区分] 処方／院外 [長期処方] 可		・ <u>下記疾患並びに症状の消炎・鎮痛</u> <u>関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群：</u> 成人には1回200mgを朝夕1日2回食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。	—	
シナール配合錠 [一般名] アスコルビン酸・パントテン酸カルシウム錠 [薬効分類] ビタミンC・パントテン酸カルシウム [貯法] 室温保存 [区分] 処方／院外 [長期処方] 可		・ <u>本剤に含まれるビタミン類の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給（消耗性疾患、妊産婦、授乳婦等）、炎症後の色素沈着</u> <u>なお、効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。</u> 成人には1回1～3錠又は1～3gを1日1～3回経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。	—	
ゾーティクツ錠6mg [一般名] デュクラバチニブ [薬効分類] TYK2阻害剤 [貯法] 室温保存 [区分] 処方／院外 [長期処方] 不可（2023年12月1日以降可能）		・ <u>既存治療で効果不十分な下記疾患</u> <u>尋常性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症：</u> 成人には1回6mgを1日1回経口投与する。	—	
グラアルファ配合点眼液 [一般名] リバシジル塩酸塩水和物／ブリモニジン酒石酸塩 [薬効分類] Rhoキナーゼ阻害薬／α2作動薬配合剤－緑内障・高眼圧症治療剤－ [貯法] 室温保存 [区分] 処方／院外 [長期処方] 可		・ <u>次の疾患で、他の緑内障治療薬が効果不十分な場合</u> <u>緑内障、高眼圧症：</u> 1回1滴、1日2回点眼する。	—	

* 詳細に関しては薬剤部／医薬品情報室 内線3194／3200までご連絡下さい。

* 「新採用医薬品情報」は電子カルテ（EGMAIN）掲示板およびイントラネットでも参照できます。

* 電子カルテ（EGMAIN）薬品情報検索でも検索可能となります。

* 副作用および有害事象の発現を認めた場合は薬剤部／医薬品情報室 内線3194／3200までご連絡下さい。

PMDA副作用報告方法及び報告書



PMDA医薬品情報検索

